

〔浦崎みゆき議員 登壇〕

○7番 浦崎みゆきさん 6月定例議会一般質問をさせていただきます。それでは、通告書にしたがいまして一括質問、一括答弁、後ほど一問一答でよろしくお願ひいたします。まず、待機児童解消についてお伺ひいたします。(1)待機児童数は何人か。(2)3月28日付け厚生労働省が打ち出した「待機児童に向けて緊急的に対応する施策」の中で、本町が取り組んでいる項目はあるか。(3)本町窓口での保護者に対する対応はどのように行われているか。(4)待機児童解消に限定した保育コンシェルジュの導入活用の見解を問う。

2.女性の健康について。(1)本町の下記の乳がん検診事業について問う。①罹患率及び乳がん検診率はどのような変化があるか。②ワンコイン(500円)検診導入の見解を問う。

(2)多胎妊婦の場合、出産リスクが比較的高いとされ、受診回数も多くなる。妊婦健康診査費用助成の拡充への見解を問う。

3.公園管理について。(1)北丘運動公園にトイレを設置する考えはないかお伺ひいたします。以上、よろしくお願ひいたします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは、質問事項1点目、待機児童解消について(1)にお答えします。6月1日現在の待機児童は、184人となっています。内訳としては、0歳児12人、1歳児81人、2歳児31人、3歳児58人、4歳児2人です。(2)についてです。本町の取組については、保育コンシェルジュの設置、保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進、小規模保育の改修費支援の拡充など取り組める部分は積極的に活用しております。ただ、いくつかの事業は、国の要綱等がまだ整っていない状況もあり、現在、県をとおして国に確認を行っております。確認が取れ次第、取り組める事業については積極的に取り組んで進めたいと考えております。次の(3)と(4)については関連しますので一括してお答えします。町では保育所(園)入所に関する窓口対応に関しまして、4名の職員で保護者の実情を把握し入所手続きを行っております。また、待機児童の対応を含め保育を必要とする保護者に対して丁寧な相談を行い、多様なサービスにつなげるため、保育コンシェルジュとして子ども・子育て支援補助員2人を嘱託職員で配置をしております。

質問事項2点目、女性の健康について(1)の①にお答えします。平成24年度は1,096人が受診し受診率25.3パーセント。そのうち要精査100人、そしてがんと診断された方が1人で、受診者数に対して0.1パーセントの方が罹患しています。平成25年度は1,145人が受診し、受診率が25.7パーセントでそのうち要精査123人、がんと診断された方が3人で、受診者数に対して0.3パーセントの方が罹患。そして、平成26年度は1,264人が受診し、受診率が29.2パーセント。そのうち要精査が98人。がんと診断された方が2人で、

受診者数に対して0.2パーセントの方が罹患しております。平成27年度は、3月31日現在のデータで1,381人が受診し、受診率は37.4パーセントとなっています。②についてです。ワンコイン検診は、500円でがん検診が受けられることから受診される方の経済的負担が軽減され、受診率向上にもつながるものだと思います。本町の乳がん検診では、3,000円を助成し、個人負担は医療機関によって金額は違いますが、40歳から49歳の方が平均2,234円、50歳以上の方が平均1,291円、非課税世帯と生活保護世帯の方、婦人がん集団検診の際の50歳以上の方は無料となっています。導入については、財政的負担や県内の状況等を調査し検討してまいります。(2)についてお答えします。妊婦健康診査の公費助成は、平成21年4月から14回まで拡大されています。これは多胎妊婦の方も同数回となっています。しかし、多胎妊婦は妊婦健診の回数も多く必要となることから、妊婦とお腹の赤ちゃんの健康管理の向上を目的として健康診査の公費助成を拡充している自治体もあります。拡充については、財政的負担と他の自治体の状況等を調査して検討してまいります。

質問事項3点目の公園管理について(1)にお答えします。北丘ハイツ自治会で維持管理されている北丘運動公園のトイレ設置については、公園の補助事業での整備メニューがないことから、別事業で整備メニューがないか検討してまいりたいと思います。以上であります。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 答弁、ありがとうございます。それでは再質問を行っていきたいと思います。待機児童が184人になっていますけれども、内訳も調べていただきましてありがとうございます。3月議会の答弁より67人が減っているわけですけれども、この67人に対する待機児童解消等の方法とか、あとはこの現在おります184人という数字の捉え方をお伺いいたします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えいたします。3月定例会での報告数が67名減った一番大きな原因は、4歳児の幼稚園での4歳児保育の開始になります。それから、小規模保育事業も開始していますし、よなは保育園の認可化もございます。それでこの人数の減になったものです。

それから、現時点での184名の待機児童解消に向けてでございますが、これまでの定例会、先だつての臨時会でもご報告しましたように、当初予定では新設の保育園1園を2園予定として3園でありましたが、今、そのなかの1園が地主とうまく進まなくて取り下げている状況になっています。それもまた来月あたり公募をしまして、計画どおりの3園新設を予定し、そのような施設整備でもって184名待機児童解消に取り組む予定となっております。

ります。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。大変に皆様の努力の成果が表れていると思いますがしかし、184人の方は、いろんな工夫をし、家庭の協力を得ながら子育てをしている状況と私も相談など受けまして、本当に苦しい思いをしておりますが、一日も早い対策が取れるようよろしくお願いします。

それでは、(2)厚生労働省が打ち出した緊急的に対応する施策でございますけれども、本町では保育コンシェルジュと業務負担のICT化の推進、小規模保育の改修費支援となっております。コンシェルジュは分かりますがこのICT化の推進とは具体的にどのような事業を指すのかお伺いいたします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。保育園における保育士の業務ICT化事業とは、本定例会の補正予算で計上しておりますカメラの設置も併せてですが、保育園での保育システムの整備を指しております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。はっきり分かりました。あとはいくつかの事業とありますが、いくつかの事業でどういったものを県に出しているのか教えてくださいいただけますか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えいたします。厚生労働省が示しました待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策ということで5本の柱がございます。1番目が子ども・子育て支援新制度施行後の実態把握と緊急対策体制の強化、2番目に規制の弾力化・人材確保、3番目に受皿確保のための施設整備促進、4番目に既存事業の拡充・強化、5番目に企業主導型保育事業の積極的展開。この5本の柱の中に28の項目がございます。そのうちの10項目を現在町は取り組んでおります。それ以外ではまだ国から要綱が示されていないものもございまして、その要綱が分かり次第、できるものはすぐに取り組んでいく姿勢でわれわれ待機児童解消に向けて取り組んでいます。国から示されたもので町ができる部分は積極的に取り組んでいく姿勢でまいります。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。町としても早め早めに取り組んでいる姿勢を評価したいと思います。小さなことでもいいですので、取り組んでいただきたい思があります。

そのなかにも緊急的な一時預かり事業というのがありますが、現在は最長15日間というような規定があります。私が読んで理解した分では、保育園の入園が決まるまでは預かり事業でもってやっていくとのことなのですが、この預かり事業の15日を延長してずっとやっていくようなお考えはないか伺いをいたします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えします。一時預かりを実施している施設での日数の延長については、現時点では厳しい部分がございます。この新しい制度に関しましては、厚生労働省にも確認を取りながら検討中でございます。例えばどういう施設でどういうかたちでできるのかとか、施設整備にも補助が付くのか、いろいろ細かい部分を国へ確認中でございます。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ぜひとも情報も早めにとっていただいて、できることからやっていただきたいと思います。本当に悲鳴に近いような相談がたくさん来ていますので、是非ともよろしく願いいたします。

それでは、(3)と(4)は一括しての答弁でしたので、現在、この入所に関して職員4名の方で実態把握をしているとのことですが、コンシェルジュと言われております支援補助員2名はいつから配置をしてどのような活動内容になっているのかをお願いいたします。

○議長 宮城清政君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 現在2名配置していますが、まず1名は平成27年4月1日から採用しております。これは県の待機児童解消支援補助金をもらって10割補助で設置しています。もう1名が今年の4月1日から採用しており、こちらは子ども・子育て支援交付金で国・県・町が3分の1ずつで設置しております。

主な任務でございますけれども、基本的には5点でございます。まず1点目が認可保育園

の入退所の案内及び待機児童の現状説明。2点目が、認可外保育園（町内外）空き状況の確認。3点目が、待機児童で町内の認可外保育園に通っている世帯へ助成の案内、保護者の勤務先付近の認可外保育園の空き状況を確認して紹介。4点目が、一時預かり、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターの案内。5点目で窓口に来た保護者の相談内容により課内の社会福祉士へつなげる業務。この5点が主な内容になっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 5点のいろんな対応をいただいているのですが、この184名に対してこの2人ですか、4人の職員プラス2人ですかね。その6人体制で、アドバイザーとしてはその2人でしっかりとやっていると理解してよろしいでしょうか。また、丁寧な相談を行っているかと答弁にございますが、保護者としては納得しているというお考えでしょうか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 どの部分で納得かというところで回答になるかどうかですが、当然、待機になる部分では納得はいかないものだと思います。本来は入れるべきものが入れないということでやはり納得いただけないとは十分理解しております。ただ、そういうなかで保育園が整備されるまでの間、どのような支援策があつて、どういうものを活用してという案内で不満を解消していただきたいと窓口で対応しております。4名の職員と2名の保育コンシェルジュの6人体制で、しっかりと窓口案内、子育て支援の案内に取り組んでいきたいと思ひます。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 確におっしゃるとおりだと思います。保護者としては預かっていただくという点もありまして、言われるとおりの「はい」と返事はいただいていると思ひますが、再度また何か聞きたいことはありませんかとか、何かあつたらお電話なりくださいねというような最後の声かけもぜひしていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

それでこのコンシェルジュの位置付けを確認しておきたいと思ひますが、私の質問は待機児童解消に限定したように書いておりましたが、今後このコンシェルジュは本町において恒久的に置くべきものなのかお考えはどうなのかお聞かせください。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 特に本町のように人口増の激しい、そして子どもの数が増えてくる町においては、大変重要な役を担っているものと思います。引き続き、子育て支援の強化、それにはもちろん、議員もおっしゃいますように保育園だけではありません。昨今問題になっています貧困の関連、そういったものにもすべてつながってまいりますので、トータル的に子育て支援という位置付けで今後も設置して、本町子育て環境の充実に取り組んでいきたいと思えます。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。そういうコンシェルジュがいることによって認可外保育園の空き具合ですとか、今まででしたら保護者が走って探して、ここも駄目だった、あそこも駄目だったというようなことがあったのですが、そういう方がいらっしゃるによって保護者は本当に助かっていると思えますので、今後の活躍を期待してこの質問は終わりたいと思えます。

次の女性の健康についてです。受診率、受診人数も上がってきておりますし、罹患率、また発見された方も増えているようには思えますが、この数字はまず国保に基づく数字であるのか、本町としての数字であるのか確認したいと思えます。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。このがん検診のなかには2年に1度と国の指針で示されている検診がありまして、乳がん検診もその1つであります。受診率の出し方としては、国が示した出し方によって出された数字であります。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん それでは、これは町全体として見てよろしいのですか。本町のなかで例えば平成27年には1,381の方が受診して受診率は37.4パーセントと捉えてよろしいのでしょうか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 われわれが捉えております数字は、国のがん検診の受診対象者であります40歳以上75歳未満の方となります。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。それではお伺いいたしますけれども、がん検診受診率は町として50パーセントを目標にしていると思います。徐々に上がってきてはいますが、まだ37.4パーセントで、50パーセント受診率への対策と言いますか、これまでやってきたもの以外の施策はありますでしょうか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 国保年金課長。

○国保年金課長 町田美貴さん では、私からお答えいたします。施策としまして、クーポン券の配布がございます。これは今、南風原町は40歳以上としておりますけれども、今年でしたら今年で満41歳になる方。いわゆる、40歳から刻みで5年ごとにクーポン券を送付しております。お問い合わせに応じまして、届いていない方にも送付をしておりますし、窓口でお渡しすることもしています。ただ、これに関しまして国ではクーポンは1回でありますけれども、南風原町は5年ごとに対象の範囲で配布しております。これで少しでも受診率が上がればということで施策の1つと考えております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん このクーポンに関しましては、本当に素晴らしい取り組みで、他では止めているにもかかわらず、南風原町では引き続きやっていたということは感謝申し上げたいと思います。これも1つの施策だと思いますけれども、乳がんの罹患率が高いということで、特に沖縄は高いですね。今、沖縄県では乳がんの死亡率が2位と聞いております。早めの受診をしていただければ、本当に命を落とさなくてもいいがんになっておりますので、いかに受診率を上げるかが最大の対策だと思うのです。ですから、私が提案をしておりますワンコインですけれども、まず答弁の婦人がん検診は集団検診で3日間ありまして、50歳以上は無料となっているわけですが、通告していませんけれどもこの3日間の婦人がん集団検診はどれぐらいの方が受診していらっしゃるのか、人数的にどれぐらいを予定していらっしゃるのか。分かりましたらお願いします。

○議長 宮城清政君 国保年金課長。

○国保年金課長 町田美貴さん では、お答えいたします。ただ、この集団検診につきましては、集団のみの受診率ではなくて、個別検診もございますのでそれを取りまとめた数値

をご報告させていただきます。まず、平成27年度はまだ本来の数値ではございませんので平成26年度の数値が最新となっていて、1,264名の方の受診がございまして29.5パーセント。これは先ほどの数値に近いかと思いますが、集団検診のみの数値はございません。先ほどの報告の通知のみとなっております。申し訳ございません。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。この無料の婦人がんの集団検診が多いのか、それとも個別が多いのか。実は私も個別検診しか目に入らなくて、50歳以上は無料なんだと今初めて気が付いたところです。私が申し上げたいのは、個別検診のところで乳がん、マンモには2方向、1方向とあるわけですけれども、1方向の数字を見ますとわりと値段は安いんですね。0円もありますし、780円、600円、600円、それから2方向しかとらない所は除いて456円などあるのですけれども、このようにばらばらにあるとどこに行けばいいのかという感じもあるかと思えます。これが一律500円であれば、ワンコインで受診できますよと、500円であなたの家庭を守ります、500円であなたの命を守りますというようなキャッチフレーズで広報のページにでも載せていただくと、テレビでも乳がんに関わっている芸能界の方などのいろんな話もあるわけですから関心はあると思うのですが沖縄県がこんなにたくさんの方が乳がんで命を落としていることはあまり実態として分からないと思えますので、そういった意味を含めまして1方向だけでも個別検診でどうか、そんなに大きな数字ではありませんのでここをずらっと同じ数字にさせていただくと受診しやすいのではないかと思います今回質問を出しております。乳がんは年々増加しております、日本では年間1万3,000人の方が亡くなっているということです。12人に1人。この中の方がすべて女性でしたら、12人に1人はがんになっているというような実態です。無料クーポンも本当に素晴らしい施策でありますし、プラスちょっとした補助額で500円ワンコイン検診が受けられるというのはインパクトがすごく強いと思えますので、ワンコイン検診が検診を受けるきっかけになればと取り上げております。再度、答弁をお願いいたします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えいたします。議員おっしゃいますように、乳がんが若い女性から本当に増えてきておりまして、死亡率も平成22年のデータですが全国でも2位になって女性の健康問題として大変危惧されているところでございます。ご提案の500円でのワンコイン検診は、受診率向上にも経済的負担軽減にも大変良い取組だと思います。今調べる限りでは、名護市が率先してがん検診を500円ワンコイン検診ということで取り組んでいます。ただ、財政的な部分でやはりどの程度町の負担が増えるのかの試算、それか



ら医療機関においてはどうしても医療機関ごとに検査料金が違っております。そういうことからこのような料金の設定になっておりますので、町が負担する部分が病院ごとに違うものとなっていき、このワンコインの導入に関しましては財政等研究しながら検討してまいりたいと思います。受診率の向上については、先ほどの無料クーポン券の配布もありましたが引き続きそれを実施しながら、皆さん報道で若い芸能人の方の乳がん罹患とかそういったことで自分のことのように感じている部分も多いと思いますが、町としてもぜひ検診を受けて早めに発見できるようにどんどん推進していくために、とにかく若い世代への発信、受診の勧奨をしていきたいと思います。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。ぜひそういったことも取り上げていただいて、50パーセントの目標を上回るような受診率となって女性の健康を守っていただきたいと思います。

続きまして(2)多胎妊婦の件ですけれども、今14回無料というような国からの補助があるわけですが、先ほども述べましたようにリスクがかなり大きくて、本来は1人身ごめるのですが、多胎妊婦の原因とも言われております高齢出産や不妊治療の影響とかそういったものがあって結構増える傾向があるわけですね。ですから、1人だけでも大変なところですが、実際、病院にも何回か行くわけです。やはり1人と2人では全然違いますし、そういう意味でも母体にすごい大きな影響があるわけですね。それが1人の子と同じような公費助成14回では全然足りないわけです。それに何回かでも上乗せできるような体制をもっていいただければかなり助かると思うのですけれども、まず本町においての多胎妊婦は何人ぐらいいらっしゃるのでしょうか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 過去3年間のデータですが、平成25年、平成26年、平成27年と親子健康手帳(旧母子手帳)交付者数から見ますと、平成25年が518人の交付に対して4人が多胎です。平成26年が541人のうち2人、そして平成27年度が596人中9人となっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。昨年はかなり増えております。やはり不妊治療の影響もあると思います。今は不妊治療にも国として積極的に補助を出してやっているわけですから、この少子高齢化時代に一遍に2人とか3人とかすごいじゃないです

か。子どもを産んでいただく妊婦さんに対して、やはり安心して受診していただくこと。本人の精神的ストレス、経済的にも大変、精神的にも大変ななかでせめて受診だけはしっかりしていただいて安全な態勢でぜひとも生んでいただきたいと思います。去年も9人ということですが、9人に対して何回かの補助はそんなに難しいことなのでしょうか。どこかで考えていただけないか。再度、この件に関してよろしくお願いします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。普通の場合でも厳しいと思いますが、やはり多胎となりますと大変な部分が多いと思います。他府県では14回に4回プラスとか5回プラスとかそういったかたちで支援している所もございます。本町としましても、子育てしやすい町として取り組んでおり、妊婦から各ライフステージでのさまざまな支援というかたちでこれまでも取り組んできておりますので、町としてどういった手法でできるのか検討してみたいと思います。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 心強い答弁、大変ありがとうございます。ぜひ検討をよろしくお願ひいたします。

それでは、3番目の公園管理についてお伺ひいたします。北丘ハイツは自治会での維持管理というような答弁をいただいておりますけれども、この運動公園ですか、児童公園ですか、2つのどちらの名前もあるものですからよく分かりませんが、この運動公園では地域の方がグラウンドゴルフ、夏まつり、地域コミュニティ活動、それはもちろんですが近くにあります保育園、幼稚園が20名ぐらいを連れてのお散歩コースで歩いている姿をよく見ますし、公園内で遊んでいます。このように使われておりますけれども、地域の人からしますとやはりトイレがなくて諸行事においては利用者に支障をきたしているということで、トイレに行って来るねと言いながら1人、2人と減っていくような状態で、本当に以前よりトイレ設置を望む声があるわけでございます。それでお伺ひしますけれども、北丘ハイツの所帯数と人口はどれぐらいかご存知でしょうか。よろしくお願ひいたします。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 世帯数、人口については今、把握しておりません。

○議長 宮城清政君 住民環境課長。

○住民環境課長 与那嶺秀勝君 お答えします。平成28年5月末現在で北丘ハイツの世帯数が129世帯、そして人口が337名となっています。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。では、129世帯の337人ということですが、大名もこれといった公園はないのですよね。それでそちらで運動をしたり、朝夕散歩、歩け歩けをやっている方もたくさんいらっしゃいまして、それ以上のたくさんの方が利用されていることをまず申し上げたいと思います。このトイレ設置に関しましては、自治会からも要請書が出されていると聞いております。その際の状況はどうだったのか、差し支えなければお聞かせ願いたいと思いますがどうでしょうか。お願いいたします。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 トイレ整備の要請については把握しておりませんが、平成26年2月でしたか、行政懇談会において整備要望がございました。その際においても補助メニューがないということで、将来的には高速道路、南風原バイパス桁下で公園整備の中でトイレ整備も含めて検討していきたいということで了解を得ているものだと思っております。そのように答弁させていただいておりました。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん そうですか。要請書も出したとお伺いしていたのですが、それではその公園の壁に「この施設は避難所となっております」と、「北丘児童公園南風原町総務課889-4415」と書かれております。南風原町の公園に対する位置付けは、どのようなになっているのでしょうか。

〔「休憩願います」の声あり〕

○議長 宮城清政君 休憩します。

休憩（午前10時47分）

再開（午前10時47分）

○議長 宮城清政君 再開します。総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 災害時の一時避難場所につきましては、基本的には地域の自治会公民館、宇の集会所、付随している広場等々、确实これだということではないのですが、都市公園、近隣公園も避難場所としては指定しています。ご承知のとおり、災害というのはどのような規模でどこが被災するのかわかりませんので、その実情によって

その場に避難していただく。平素からそういったことをシミュレーションしていただくということで、地域のある程度のスペースのある所や公民館、都市公園は一時避難場所として指定しているということです。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 今の答弁を受けまして、避難所の観点から伺いますけれども、避難所とは先ほどおっしゃっていただいたように災害発生時など人々が避難する場所ですね。そこにトイレがないということは考えられないのですが、それはどのようにお考えになりますか。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 あくまで一時的にここにという、火災とか何か逃れないといけない場合ですね。ここに留まりなさいという意味ではございません。例えば台風のときには庁舎6階の和室とか、ちむぐる館の畳の間とかそういったことです。それとは少し位置付けが違うということになっています。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 一時的にも人が集まりますよね。そこでトイレに行きたいと思う人は、このたくさんの中にはいらっしゃるのではないのでしょうか。そういった観点含めて、北丘ハイツには65歳以上の方もたくさんいらっしゃると思いますから、介護予防の観点からも、せっかく近くに公園があるのにトイレのことを考えると気軽に散歩できない、躊躇せざるを得ないというのは健康面からかなりの損失があるのではないかと思います。そのように環境整備をする観点で行政の役割は大事ではないかと思いますし、先ほど部長がおっしゃいましたが南風原バイパスができた時には桁下にといいお話をちらちらと聞きますけれども、それは何年後になるのでしょうか。少ししか聞いておりませんが、南風原バイパス事業には自治会の協力も得られているとお伺いいたしました。そのへんのことも考慮していただいて、地域住民の強い願いでありますトイレの設置について、ぜひとも自治会の皆様と前向きに話し合いたいのですが、町長より答弁をいただきたいと思っています。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 お答えします。北丘公園のトイレ設置については、経済建設部長か

らも公園事業に該当しないようであればいろいろなメニューを探さないかどうか整備を検討したいということでありましたが、それには私も同感であります。検討するにもできる方向での検討をさせたいと思います。みゆき議員がおっしゃるように、自治会では地域のいろいろな催しがあるなかにおいて、1時間以内であればパッと帰れるのですが、2時間3時間の催しではお家に帰られたらそのまま出てこない場合もある。この皆が盛り上がっている場に水を差すようなことになり兼ねないこともあります。私も行って見て痛感しております。当然、大衆が集まる場にはトイレが必要だと、あるべきだと思っております。また、経済建設部長からもありました桁下の際に公園事業としてやっぺいこうと方針を出しておりますし、国道事務所にも要望を出しておりますので、その中でトイレ設置をやるつもりでありましたが、ではこの時期を見て来年になるのか再来年になるのかいつになるのかその時期が見えない場合においてそのままの現状でいいのかとなると、やはり急を要するものだと思いますのでぜひこれに対してはもしメニューがなければいろんな知恵を出し、知恵がなければ単独でもやるような姿勢で指示をしていきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 町長、大変ありがとうございます。前向きな検討ということで、本当にいつできるのか、区民にとりましては悲願と言っては大げさですが切実な思いで町にも要請をしておりますので、本当に良いかたちでの話し合い、町だけに負担ではなくて、もちろん自治会としてもまたいろんな施策があると思っておりますので、ぜひ町長の答弁のとおりよろしく願いいたします。これで終わります。